

(認定NPO)

特定非営利活動法人

エコプラザさばえ

令和5年度 活動報告書



【編集・発行】

(認定NPO)

特定非営利活動法人 **エコプラザさばえ**

(エコネットさばえ指定管理者)



〒916-0033 鯖江市中野町73-11 鯖江市環境教育支援センター(エコネットさばえ内)

TEL : 0778-52-0050 FAX : 0778-52-0909 E-mail : econet@ecoplaza-sabae.jp

エコプラザさばえ令和5年度活動報告書

Contents

沿 革	3
-----	---

巻頭言	5
-----	---

I 章 環境に関する普及啓発事業	7
-------------------------	----------

1 生ごみリサイクル事業	8
2 他団体活動支援	9
3 S D G s 普及啓発	11

II 章 環境に関する受託事業	13
------------------------	-----------

1 環境フェアの開催	14
2 こどもエコクラブ活動の支援	22
3 かんきょう市民大学・井戸端会議・企業セミナー等の開催	26
4 環境教育学習の企画実施	27
5 親子リサイクルバスツアーの開催	33
6 館内企画展示	34
7 環境まちづくり委員会各会議の開催	35
8 環境アドバイザーの派遣	36

9	エコネットさばえ通信の発行	37
10	センターに付随したビオトープの整備	38
11	どんぐりからの森づくり事業	40
12	幅広い環境情報の収集と情報発信・啓発	44
13	3R推進講座の実施	45
14	環境リーダー養成講座の開催	46
15	SDGsの達成に貢献する活動・団体の支援および事業の実施	47
16	魅力ある企画事業運営	50
17	廃棄物分別およびごみ減量化・資源化市民啓発事業	52
18	生ごみ分解処理容器モニター事業	54
19	環境啓発事業	55

	編集後記	56
--	------	----

沿革

令和5年4月現在

年月	エコプラザさばえの沿革	年月	関連する出来事
		平成7年10月	世界体操競技選手権 1995 鯖江大会開催
平成11年4月 (1999年)	鯖江市民活動交流センター (以下:NPOセンター)開館	平成9年1月	ナホトカ号重油流出事故発生
		平成12年3月	「鯖江市環境基本計画」が策定される
		平成12年6月	「鯖江市環境まちづくり委員会」が結成される
		平成13年7月	同委員会による「市長への提言:アクションレポートNO.1」において、環境情報センター設置が提言される
平成13年9月 (2001年)	NPOセンターにおいて「鯖江環境情報学習センター(エコプラザさばえ)設立準備委員会」が設置される	平成13年10月	NPOセンターが法人格取得、特定非営利活動法人鯖江市民活動交流センターとなる
平成14年4月 (2002年)	鯖江環境情報学習センター (愛称:エコプラザさばえ)設立 NPOセンターエコプラザ委員会(委員長: 谷田千津枝)として活動開始		
平成14年6月	NPOセンターにおいて事務局開所 オープニングイベント開催される		
平成15年4月 (2003年)	NPOセンターエコプラザ実行委員会 (委員長:井上哲夫)として活動再開		
		平成15年7月	鯖江市環境教育支援センター(仮称)設立 検討委員会設置される
平成15年8月	法人格取得のため「エコプラザさばえ」設立 総会開催される		
		平成15年12月	鯖江市環境教育支援センター(仮称)設立 検討委員会が中間報告書を提出
平成16年1月 (2004年)	「特定非営利活動法人エコプラザさばえ」 の法人格取得		
平成16年4月	「特定非営利活動法人エコプラザさばえ」 本格始動開始。(理事長:井上哲夫)	平成16年4月	鯖江市環境教育支援センター(仮称)設立 検討委員会 第2期として再会される 主に運営面での検討が行われる
平成16年7月	福井豪雨災害発生。NPOセンターの協力 要請によりボランティア活動を行う	平成16年7月	福井豪雨災害発生
		平成16年8月	・鯖江市環境教育支援センターの建設が 着工される ・市長解職投票で辻市長が解職される
		平成16年10月	鯖江市長選挙で牧野百男氏が当選する
平成17年1月 (2005年)	エコプラザさばえに関する「さばえ災害 ボランティアの記録」が完成		
平成17年4月	鯖江市環境教育支援センター(エコネット さばえ)の夜間管理業務が始まる	平成17年4月	鯖江市環境教育支援センター(エコネット さばえ)が開所される
平成18年1月 (2006年)	鯖江市環境デザイン大賞を受賞する		
平成18年3月	エコプラザさばえの事務局をエコネット さばえに移転する		
平成18年4月	エコネットさばえにて活動開始する。 (理事長:石本豊昭)		
平成19年4月 (2007年)	エコネットさばえの受託事業が本格的に 始まる。(理事長:石本豊昭)		
平成19年10月	臨時総会にてエコプラザさばえ定款の改正 が行われる		
		平成19年12月	12月議会において、エコプラザさばえが 環境教育支援センターの指定管理者に 選定される
平成20年4月 (2008年)	環境教育支援センターの指定管理業務が 始まる	平成20年5月	越の郷地球環境会議が設立される
平成20年10月	臨時総会にて平成21年度エコプラザ さばえ理事長に佐飛康央が就任	平成20年9月	どんぐりからの森づくり事業が始まる
平成21年7月	キッズエコラボ事業始まる		
平成21年10月 (2009年)	福井県知事より社会貢献活動表彰を 受ける		

(沿革のつづき)

年 月	エコプラザさばえの沿革	年 月	関連する出来事
		平成 22 年 3 月	鯖江市環境基本計画改定
平成 22 年 4 月 (2010 年)	通常総会において第2章(事業)の第5条の(1)の⑤が定款変更される		
		平成 22 年 10 月	COP10、COP/MOP5 が名古屋で開催
		平成 23 年 2 月	2月議会において、エコプラザさばえが環境教育支援センターの指定管理者に選定される(更新)
		平成 23 年 3 月	東日本大震災(3.11)
平成 23 年 4 月 (2011 年)	第2次エコネット指定管理業務委託開始(更新) ～5年間		
平成 23 年 5 月	通常総会において定款第 23 条(1)の規定により第 16 条の(1)変更された		
平成 23 年 10 月	臨時総会にて平成 24 年度エコプラザさばえ理事長に井上哲夫が就任		
		平成 24 年 3 月	サケの稚魚第 1 回放流
平成 24 年 11 月 (2012 年)	(特)エコプラザさばえ創立 10 周年記念講演及び記念式典、祝賀会を開催		
平成 25 年 3 月 (2013 年)	臨時総会において定款第 14 条(2)及び定款第 43 条の変更、第 15 条(2)の追加		
平成 26 年 6 月 (2014 年)	福井高専より感謝状を受ける	平成 26 年 4 月	サクラマス稚魚第 1 回放流
		平成 26 年 6 月	市制 60 周年記念講演会に「さかな君」
		平成 26 年 9 月	SATOYAMA イニシアティブ国際パートナーシップ第四固定例会合(IPSI-4)が福井県で開催
平成 27 年 3 月 (2015 年)	faavo さばえ資金調達	平成 27 年 3 月	鯖江市内街路灯が全て LED 化
平成 27 年 4 月	水土里ネット東陽事務局支援開始		
平成 27 年 5 月	青少年育成協議会表彰を受ける		
平成 27 年 7 月	認定 NPO 取得	平成 27 年 11 月	放流サケの初週上確認
平成 28 年 4 月 (2016 年)	第3次エコネット指定管理業務委託開始(更新) ～5年間	平成 28 年 2 月	低炭素杯 2017 エコネットさばえが優秀賞を受賞
		平成 28 年 4 月	ごみ分別収集一部変更(製品プラ回収)
平成 28 年 5 月	通常総会において定款第5条 事業項目変更。3事業項目とする	平成 28 年 4 月	鯖江市内日野川で初めてのアユの稚魚放流
平成 28 年 6 月	Yahoo!!Japan・鯖江市とリユース協定締結		
平成 28 年 8 月	公安委員会より古物商許可認定取得		
平成 28 年 9 月	ReU funding 「サバオク事業」開始		
平成 29 年 12 月 (2017 年)	臨時総会において定款第2章(事業)の第5条の(1)に ④再生可能エネルギーを利用した発電事業が追加される		
平成 30 年 2 月 (2018 年)	経済産業省より再生可能エネルギー発電事業計画の認定を受ける		
令和 元年 6 月 (2019 年)	理事長に岸本直樹が就任		
		令和 2 年 3 月～	新型コロナによりロックダウン事業自粛がつづく
令和 2 年 7 月 (2020 年)	認定 NPO 資格更新(5年)		
		令和 2 年 10 月	佐々木勝久氏が市長就任
令和 3 年 4 月 (2021 年)	第4次エコネット指定管理業務委託開始(更新) ～5年間		
令和 3 年 4 月	水上太陽光発電事業の実施を断念		
令和 3 年 12 月	卒フィット電源による供給締結(北電)	令和3年5月	鯖江市がゼロカーボンシティ宣言
令和 4 年 6 月 (2022 年)	新型コロナによる事業自粛をしていた環境フェア・こどもエコクラブ活動交流会が感染対策を行う中で再開される	令和4年3月	環境基本計画改定(第4次計画)
令和 5 年 2 月 (2023 年)		令和4年4月	燃やすごみ袋の記名化始まる
		令和4年9月	第8期環境まちづくり委員会発足
令和 5 年 12 月 (2023 年)	グリーン・イノベーター・アカデミー(GIA)		
令和 6 年 2 月 (2024 年)	インターン生受け入れ(4名)		

巻頭言

～コウノトリと環境の歴史に学ぶ～

特定非営利活動法人 エコプラザさばえ

理事長 岸本直樹

■ コロナ禍の収束

新型コロナウイルス感染症（以下：コロナ禍）については2020年3月の巻頭言から書いてきたが、今回は既に5回目となる。最近のニュースではほとんど耳にしなくなった。はっきりとしたデータはわからないので安心はできないとしても、自分が感染するかもしれないと言う目の前の恐怖感は和らぎ、つまりは関心の度合いが低下した。今後はまちの賑わいが完全にもとに戻り、そしてこれでコロナの記載が最後となることを祈りたい。

■ コウノトリが鯖江で誕生

コウノトリは鯖江市周辺では、1970年に武生(越前市)にすんでいたのを最後に見られなくなり、野生絶滅となってしまった。その後、人工増殖に成功し一部は野生化するまで回復し、鯖江には2010年頃から再び飛来が確認されるようになった。2022年には人工巣塔の上で産卵シヒナが誕生した。鯖江での誕生はとても喜ばしいことである。

■ 田んぼの歴史

「絶滅の原因は1960年頃から使い始めた農薬が原因で、今はその農薬(殺虫剤・除草剤・殺菌剤等)の毒性が弱くなったから復活が出来た。」という話を聞く。

当時は生物濃縮の悪影響と言うことも明らかにされていなかった。散布量を増やせば効果が出て米の収穫量が増加したことから農家に指示された。食糧難から解放されたい日本国民は収穫増を喜んだ。そして化学肥料の登場により米の生産量はさらに飛躍的に拡大し、みんなが毎日腹いっぱいご飯を食べられる幸せな日本となった。

あわせて土地改良事業による乾田化により、トラクター等の機械で農作業が出来るようになり、転作が可能で米の収量も増え、作業効率の高い優れた農地となった。

■ 絶滅への道

「絶滅危惧種が1991年に環境省から初めて公表された。そんなある日、「メダカがない」と言う話題をテレビで聞いた。それで私はメダカを探しに出かけた。土地改良事業で整備された農地にはいなかった。さんざん探し回って、ついに開発から取り残された一部の湿地で発見した。

絶滅危惧種のイメージには高次消費者(イヌワシ等)があるが、実は湿生動植物種が圧倒的に多い。「瑞穂の国」である日本は、昔の田んぼはみんな湿田と言って湿地の役割を果していた。日本の動植物は湿地に由来するものが多いのは歴史からも裏付けされる。その湿田がなくなり乾田化されると、湿生動植物は生息地が破壊され絶滅してゆく。ドジョウ、カエル等がいなくなり、それらを餌とするコウノトリも同時に絶滅した。

■ 瑞穂の国の喪失

1950年代後半から1970年代には四大公害病をはじめとする有害物質による公害病が各地で発生し大きな社会問題となり、国をあげて対策に取り組んだ。その結果様々な規制に関する法律が整備され、その時代から比較すれば今は「安心安全な」国となった。

当然ながら農薬もその対象となり、今は直接人に影響を与えるようなことはない。しかし絶滅危惧種は増えていく一方だ。調査が進み情報が確かになったこともあるが、生息地の破壊が基本的な背景である。

公害問題が顕在化してきた時代には、同時に全国で土地改良事業が展開され、多くの湿地(湿田)が失われ、多くの野生生物の命や生息地が破壊された。あわせて河川改修事業、海岸整備事業、湿地や湖沼の干拓、宅地開発事業も行われたことから、ついに「瑞穂の国」は死語となった。

■ 人と野生生物、命の軽重

人には人権があり、命の重さに軽重はない。でも人と野生生物の命では、人がはるかに重く野生生物が軽い。弱肉強食という言葉があるが、自然界つまり野生生物の社会では

「生きるために食べる」以外の行動はなく、それ以上の殺生はしない。しかし人間社会ではこれまで無制限・無秩序に野生生物の命や生息地を奪ってきた。

防衛事業や発電事業に関しては根強い反対運動が続いている。それは過去に多くの命を奪われたり、被害を受けたことに起因する。四代公害病等においても多くの被害者が苦しみ、住民訴訟に多くのエネルギーが費やされた。だからどの住民も自分の命や生活の安全を守るため活動する。場合によっては命がけで反対する。

さて話を 1950 年代後半から 1970 年代に戻す。そのころは情報不足もあったかが、世の中全体が「腹が膨れるなら、お金がもうかるなら、それが世のため人のため」と、見て見ぬふりをしていたことはなかっただろうか。

■世の中の選択は絶滅

土地改良事業等の開発による生息地の破壊、農薬等の有害物質などによりコウノトリは絶滅した。残念なことにこの過程で、世間では「コウノトリを守れ」と、「むしろ旗」を掲げて反対するようなことはなかった。世間はコウノトリよりわが命や生活を良くすることを選択した。国や学者やマスコミ等そして市民はコウノトリを忘れた。名も無き声を拾い上げて弱者を救うことはなかった。

■迫りくる地球温暖化問題、その結末

公害問題に始まり環境問題が叫ばれるようになって約 70 年経過した。初めての経験で情報不足もあったが数々の失敗があった。失敗を大きくした原因に「経済優先」の考えと、眼前の問題とならない限り行動スイッチが入らない「他人事なら見て見ぬふり」の気持ちがある。

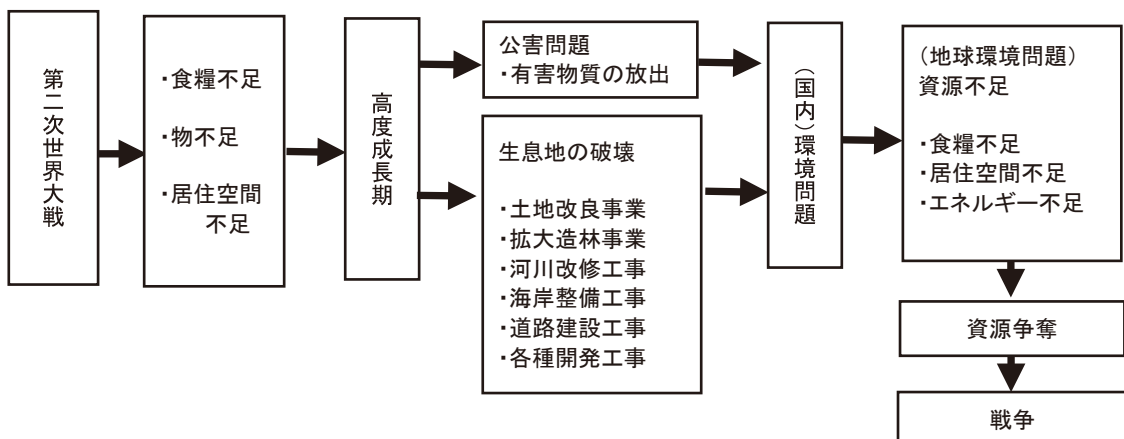
地球温暖化問題は「経済優先」と「他人事は見て見ぬふり」でますます問題が大きくなっている。環境が悪化すると資源不足が発生する。次に、法も秩序もなくなり戦争が起こる。戦争は基本的に資源の奪い合いが原因だ。そして必ず立場の弱いものが犠牲となる。つまり貧しい人や国が犠牲となる。今度起きる戦争では何億人、何十億人規模の犠牲者が発生するかもしれない。

「猿の惑星」は映画の中だけのことだが、いよいよ現実味を帯びてくる。コウノトリ復活事業でさえ、長い年月と多くの金銭や労力が費やされている。今起こりつつある地球規模の失敗や犠牲に対して、その代償はとてつもなく大きく償えるものではない。

■エコプラザさばえへの期待

私たちは歴史から学ぶ知恵があるはずだ。地球温暖化という大きな問題に対して、私たちは微力かもしれない。しかし「Think Globally, Act Locally」(地球規模で考え、足元から実行せよ)の考えは不変であり真実であり、究極の対処方法である。

私たちエコプラザさばえは地方の小さな環境 NPO であるが、一人でも多くの市民に「本格的な行動スイッチ」を入れてもらえるように活動していきたい。



I 章

環境に関する

普及・啓発事業

生ごみリサイクル事業

1. 事業の目的

生ごみを各種方法により堆肥化にすることにより、ごみの減量化・資源として再利用を図る。

2. 実施方法

生ごみ処理容器の使用方法を説明し販売する。

3. 報告事項

販売実績

日付	種類	個数	日付	種類	個数
4月 1日	LFCコンポスト 基材	1 個	10月22日	ダンボールコンポスト 基材	2 個
4月15日	ダンボールコンポスト 基材	1 個	11月10日	ダンボールコンポスト 基材	3 個
4月18日	ダンボールコンポスト 基材	5 個		ダンボール(底板付)	1 個
	ダンボール(底板付)	5 個	11月10日	ダンボールコンポスト 基材	1 個
4月18日	ダンボールコンポスト 基材	15 個		ダンボール(底板付)	1 個
	ダンボール(底板付)	15 個	11月19日	ダンボールコンポスト 基材	1 個
5月 8日	ダンボールコンポスト 基材	1 個	11月24日	ダンボールコンポスト 基材	17 個
	ダンボール(底板付)	1 個		ダンボール(底板付)	17 個
5月13日	ダンボールコンポスト 基材	2 個		キャップ	17 個
5月19日	ダンボールコンポスト 基材	1 個	12月 2日	ダンボールコンポスト 基材	1 個
5月20日	ダンボールコンポスト 基材	1 個		ダンボール(底板付)	1 個
	ダンボール(底板付)	1 個	12月11日	木枠コンポスト	1 個
5月25日	ダンボールコンポスト 基材	1 個	12月23日	ダンボールコンポスト 基材	1 個
5月27日	LFCコンポスト 基材	1 個	1月 9日	ダンボールコンポスト 基材	1 個
6月13日	ダンボールコンポスト 基材	1 個	1月18日	ダンボールコンポスト 基材	10 個
	ダンボール(底板付)	1 個		ダンボール(底板付)	10 個
6月23日	木枠コンポスト	2 個	2月 6日	ダンボールコンポスト 基材	1 個
6月26日	ダンボールコンポスト 一式	5 個		ダンボール(底板付)	1 個
6月27日	LFCコンポスト 基材	1 個	2月13日	LFCコンポスト 基材	1 個
7月14日	LFCコンポスト 基材	1 個	3月 2日	ダンボールコンポスト 基材	1 個
7月14日	LFCコンポスト 基材	2 個	3月 5日	ダンボールコンポスト 基材	2 個
8月13日	木枠コンポスト	2 個	3月15日	ダンボールコンポスト 基材	1 個
8月19日	ダンボールコンポスト 基材	1 個		ダンボール(底板付)	1 個
9月28日	LFCコンポスト 基材	1 個	3月30日	ダンボールコンポスト 基材	2 個
10月 2日	ダンボールコンポスト 基材	1 個	小計	ダンボールコンポスト 一式*	6 個
	ダンボール(底板付)	1 個		ダンボールコンポスト 基材	78 個
10月 2日	ダンボールコンポスト 一式	1 個		ダンボール(底板付)	58 個
10月 2日	LFCコンポスト 基材	1 個		キャップ	17 個
10月 6日	ダンボールコンポスト 基材	2 個		LFCコンポスト 基材	10 個
10月12日	LFCコンポスト 基材	1 個		木枠コンポスト	5 個
10月15日	ダンボールコンポスト 基材	2 個	合計	174 個	
	ダンボール(底板付)	2 個			

※ ダンボール箱+基材+キャップ+冊子

他団体支援事業

1. 事業の目的

各種団体・グループの環境活動を支援し、さらなる広がりを促す。

2. 実施方法

接触ある関連団体・グループには積極的に対話・支援・助言につとめる。

3. 報告事項

1) イベントへの出展等

日付	イベント名	支援団体名	内容	参加人数
4月30日	丹南地区メーデー	連合福井丹南地域協議会	どんぐりポット苗づくり	80名
8月6日	小鳥達にお家を作ってあげよう	河和田自然に親しむ会	巣箱10セット提供	
9月30日	SDGsフェス2023	さばえSDGs推進センター	・生ごみ処理機の展示 ・木のコースターへのお絵描き	27名
10月1日				50名



丹南地区メーデーの様子



どんぐりポット苗づくり



SDGsフェス2023の様子



木のコースターへのお絵描き

2) 各種相談

地域おこし協力隊・renew・瑞乃和・武高オレンジズ等への相談・助言を行った。

3) 会議・講演会等への出席

支援団体名	日付	内容	回数
かわだまちづくり協議会環境部会	4月10日	運営会議	5回
	4月12日	総会	
	6月11日	田植え	
	11月8日	運営会議	
	2月3日	運営会議	
河和田公民館運営協議会	4月28日	運営協議会	2回
	3月22日	運営協議会	
男女共同参画審議会	7月12日	審議会	2回
	2月16日	審議会	
男女共同参画ネットワーク	1月21日	朗読委員会	15回
	1月30日	理事会	
	4月14日	理事会	
	4月22日	総会	
	5月29日	理事会	
	6月9日	朗読委員会	
	8月2日	朗読委員会	
	8月21日	理事会	
	10月30日	朗読委員会	
	11月6日	朗読委員会	
	11月13日	理事会	
	11月26日	青少年健全育成鯖江市民大会(労働劇で参加)	
	12月4日	朗読委員会	
	1月13日	講演会参加	
3月14日	理事会		
一社)持続可能環境センター	6月16日	運営会議	4回
	9月27日	運営会議	
	10月26日	運営会議	
	11月12日	3R低炭素検定試験監督	
	12月22日	運営会議	
越前デザイン経営スクール	12月9日	講演会	3回
	1月16日	ヒヤリング	
	3月2日	最終発表	
鯖江市農林政策課	6月2日	緑化推進委員会	1回
鯖江市環境政策課	7月4日	コウノトリ足輪つけ	1回
市民活躍課	12月15日	嚮陽会館の整備に関するワークショップ	1回
夢みらいWe	11月21日	さんかく塾打合せ	2回
	1月15日	さんかく塾打合せ	
	1月20日	さんかく塾パネルディスカッション&映画上映会	

SDGs普及啓発事業

1. 事業の目的

持続可能な地域づくりを目指すSDGs・クールチョイスを地域に普及し、さらに理解を深める。

2. 実施方法

団体等の依頼を受けカードゲーム等の講座や学習会を開催する。

接触ある団体等には積極的にSDGsを説明し、連携した事業展開を進める。

3. 報告事項

講座や学習会等の開催

日付	団体名等	内容	参加人数
4月14日	仁愛大学 安彦准教授	SDGsカードゲーム地方創生打合せ	1名
5月23日	福井村田製作所	SDGsde地方創生	30名
6月30日	越前町役場 企画振興課 山田課長補佐	SDGsカードゲーム地方創生打合せ	1名
7月3日	福井村田製作所 宮崎工場 越前町役場	SDGsde地方創生	24名
7月19日	仁愛大学 コミュニケーション学科	2030SDGs 体験会	80名
10月17日	福井村田製作所	SDGsde地方創生	25名
12月10日	森田公民館	ごみゼロゲーム SDGsばば抜き	17名
12月15日	南越特別支援学校	SDGsについて学ぼう SDGsばば抜き	18名
2月9日	南越特別支援学校	ごみについて学ぼう ごみゼロゲーム	15名
3月3日	SDGs推進センター	SDGsde地方創生	25名
3月21日	福井村田製作所	SDGsde地方創生	30名



森田公民館 SDDGsばば抜き (12/10)



福井村田製作所 SDGsde地方創生 (3/21)

II 章

環境に関する

受託事業

環境フェアの開催

1. 事業の目的

環境基本計画を推進するために、広く市民等への啓発を行い、個人レベルでの環境保全・改善活動を促しながら、環境都市を目指す。

2. 実施方法

市と環境まちづくり委員会が共催し、企業や他団体と協働して環境に対する取り組みや活動紹介等を実施した。



3. 報告事項

1) 会議・関連日程一覧

日付	活動名	場所	内容
4月10日	事務局 会議	エコネットさばえ	開催の方向性ほか
4月17日	実行委員会 会議	エコネットさばえ	方針、対策検討
5月19日	実行委員会 会議	エコネットさばえ	アイデア精査
6月5日	実行委員会 会議	エコネットさばえ	アイデア精査
6月12日	実行委員会 会議	エコネットさばえ	出展内容の協議
6月13日	会場のぼりたて	嚮陽会館	のぼりたて
6月17日	環境フェア準備	嚮陽会館	搬入、設営
6月18日	環境フェア当日	嚮陽会館	運営、搬出
7月3日	実行委員会 会議	エコネットさばえ	ふりかえり

2)さばえ環境フェア2023の開催

名 称	さばえ環境フェア2023 エコサバであそぼう！
目 的	持続可能な社会の実現に向け、環境問題に対して自立した行動と責任をとる事ができる市民の育成の為、啓発活動、展示講演会を実施する。 市と環境まちづくり委員会の協働開催で22回目となり、環境月間の6月に合わせ開催している。
開 催 日	令和5年6月18日(日) 9:30~12:00 13:00~15:30
開催場所	鯖江市嚮陽会館(鯖江市桜町2丁目7番1号)
実施内容	出展団体による展示・体験ブース、スタンプラリー、キッチンカーなど
来場者数	9:30~12:00 大人 284 名 子ども 238 名
	13:00~15:30 大人 157 名 子ども 145 名 計 824 名
出店団体	54 団体

出展一覧 (50音順)

★リサイクル工作教室・ものづくりワークショップ ◆環境体験・ゲーム体験 無印 展示等

	団体名・企業名等	出展内容
1	アースサポーター福井会	★紙パックで万華鏡づくり ◆地球温暖化防止 「エコドライブ体験」「エコライフ診断」
2	越前漆器協同組合	うるしの里会館の取り組み 漆の木の植栽
3	特定非営利活動法人 NPOみるみえる	◆目の健康体操・健康チェック・健康遊び ・ビジョンヨガ
4	河和田地酒づくりプロジェクト	河和田地酒「河和田おしどり」 の展示販売
5	河和田自然に親しむ会	★杉の間伐材で野鳥の巣箱づくり 河和田の蛍や野鳥についての展示
6	かわだの自然と文化の会	河和田の蛍や野鳥についての展示
7	環境ふくい推進協議会	★県産材でぶんぶんこまづくり
8	環境まちづくり委員会 自然環境・地球環境グループ	家族や友達と鯖江の未来を考えよう 「ぬりえコーナー」・「父の日メッセージ」
9	環境まちづくり委員会 生活環境資源循環グループ	鯖江市のゴミ減量化の状況について
10	環境まちづくり委員会 日野川水族館	日野川水族館
11	グリーンネットさばえ	活動のパネル展示
12	越の郷地球環境会議	◆木のおもちゃ・つみきひろば
13	株式会社 斉藤金物店	折り畳み式ゴミ収納枠の展示
14	さばえSDGs推進センター	SDGsに関する展示
15	認定NPO法人 さばえNPOサポート	◆ランドスケープ大作戦カードゲーム体験 ベルマークちりつもボランティア

	団体名・企業名等	出展内容
16	さばえおもちゃ病院	さばえおもちゃ病院
17	鯖江市一般廃棄物協会	燃やすゴミ・資源物の分別を詳しく紹介
18	鯖江市環境教育支援センター エコネットさばえ	生ごみ処理容器の展示・紹介
19	鯖江市環境政策課	コウノトリに関する展示
20	鯖江市くらしをよくする会	詐欺抑制対策の呼びかけ 食品ロスへの関心
21	鯖江市鳥獣害のない里づくり推進センター	いたちなどに関する展示
22	鯖江生ごみリサイクル市民ネットワーク	★新聞紙エコバックづくり
23	鯖江市連合女性会	★牛乳パックでヨーヨーづくり 食べきり運動のアンケート
24	株式会社 鯖江村田製作所	★オリジナルうちわづくり
25	株式会社 サビデンキ	◆太陽光発電に関するクイズ 太陽光発電システムについて
26	有限会社 JASTY	◆薪ストーブ・ペレットストーブ体験
27	食でつながるみんなのさばえ	食育に関するパネル展示
28	3R・低炭素社会検定実行委員会	3R・低炭素社会検定の紹介
29	積水ハウス株式会社 近畿西支店 福井オフィス	省エネ住宅・リフォームに関する展示
30	ダンボールコンポストアドバイザーの会	ダンボールコンポストの展示紹介
31	特定非営利活動法人 月尾くらし工房	◆手織り体験
32	日野川漁業協同組合	日野川水族館
33	日野川(支流を含む)を清く美しくする会	活動のパネル展示
34	福井温暖化防止センター	パネル展示・アンケート
35	福井グッド・トイ委員会	◆木のおもちゃ・つみきひろば
36	福井県フォレストサポーターの会	★木の舟づくり・おりひめとひこぼしづくり
37	福井県民生活協同組合 ハーツさばえ	★牛乳パックでホイッスル作り
38	福井県冷凍空調工業会	フロンガスによるオゾン層の破壊
39	福井工業大学 環境食品応用化学科	★環境にやさしい素材で 「光るエコスライムづくり」
40	福井小水力利用推進協議会	◆さわれる小水力発電の模型展示
41	福井鉄道福武線利用促進鯖江市民会議 鯖江市総合交通課	◆コミュニティバス「つつじバス」の塗り絵 コミュニティバス「つつじバス」について の展示・福井鉄道福武線についての展示
42	NPO法人 ふくい路面電車とまちづくりの会 (ROBA)	持続可能な社会を守るためにもっと鉄道 を利用しましょう
43	有限会社 北辰工業所	アルミ缶リサイクルの皿づくり
44	北陸電力株式会社 丹南支社	★オリジナルLEDキャンドルライトづくり
45	UVビーズとんぼづくり	★UVビーズとんぼづくり
46	夢みらいWe	◆SDGsカルタのワークショップ
47	株式会社 ヨロズヤ	生ゴミ処理容器 トラッシュの展示・紹介
48	連合福井丹南地域協議会	リターナブルビンドリンク販売

キッチンカー等 (50音順)

	団体名・企業名等	出展内容
49	KENZO Kitchen	からあげ・ラーメン
50	こっぺ亭	コッペパン・かき氷
51	中津からあげ溪	からあげ・たこ焼き
52	火の鳥	炭火炙り焼き鳥
53	プラスカフェ	クレープ
54	豊ひまわり会	ポン菓子・ポップコーン



実行委員会 5/19



のぼりたて 6/13



前日準備 6/17



総合受付



申し込み確認場所



当日申込場所



スタンプラリー



日野川水族館



木のおもちゃ・つみきひろば



新聞紙エコバックづくり



杉の間伐材で野鳥の巣箱づくり



手織り体験



エコドライブ体験



UVビーズとんぼづくり



牛乳パックでヨーヨーづくり



県産材でぶんぶんこまづくり



SDGsかるたワークショップ



オリジナルうちわづくり



木の船づくり



光るエコスライムづくり



ランドスケープ 大作戦カードゲーム体験



生ごみ処理容器の紹介



つっじバス めりえ



紙パックで万華鏡づくり



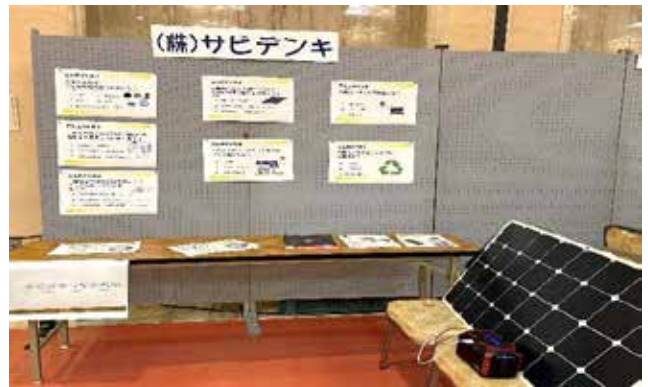
目の健康チェック



さわれる小水力発電の模型



薪ストーブ・ペレットストーブ体験



太陽光発電に関するクイズ



リターナブルビンドリンクの販売



ポン菓子

パネル展示



こどもエコクラブ活動の支援

1. 事業の目的

子ども達が一年を通して、主体的に行う環境学習および環境保全に関する活動を支援する。また、環境活動を行う子どもや大人との交流の場を設けることにより、今後の環境学習意欲の向上と環境保全活動の裾野を広げる。

2. 実施方法

環境まちづくり委員会、市教育関係者、市民ボランティア、市PTA連合会、NPOおよび市民団体等で実行委員会を組織し、子どもと大人が一体となって交流の輪を広げた。

3. 報告事項

1) 会議・関連日程一覧

日付	活動名	場所	内容
12月5日	実行委員会会議 (学校関係)	エコネットさばえ	活動交流会について 先生との協議
12月7日	実行委員会会議 (環境まちづくり委員会)	エコネットさばえ	活動交流会について 環まち委員との協議
1月12日	告知	たんなん夢レディオ	活動交流会の告知
1月13日	告知	こしの都ネットワーク	活動交流会の告知
1月25日	実行委員会会議 (環境まちづくり委員会)	エコネットさばえ	活動交流会について 環まち委員との協議
1月27日	ボランティアお手伝い	エコネットさばえ	活動交流会準備
1月28日	ボランティアお手伝い	エコネットさばえ	活動交流会準備
1月30日	ボランティアお手伝い	エコネットさばえ	活動交流会準備
2月2日	ボランティアお手伝い	嚮陽会館	活動交流会準備
2月2日	活動交流会準備	嚮陽会館	搬入、設営
2月3日	活動交流会当日	嚮陽会館	運営、搬出
2月19日	実行委員会会議 (環境まちづくり委員会)	エコネットさばえ	ふりかえり

2) こどもエコクラブ活動交流会の開催



開催日	令和6年2月3日(土) 8:50~11:30
開催場所	鯖江市郷陽会館 (鯖江市桜町2丁目7番1号)
実施内容	活動発表・活動展示・交流会 (ものづくり、 エコ体験ワークショップ)
参加者数	220名 (小学生、保護者、 各団体、スタッフ含む)

ものづくり・エコ体験ワークショップ 一覧

	ワークショップ名	協力団体
1	つみき広場 木のカタネットづくり	越の郷地球環境会議
2	プラレールでチャレンジ 目指せお片付けマスター	鯖江市環境まちづくり委員会
3	リサイクル工作とレクリエーション	鯖江市レクリエーション協会
4	自然を楽しむ! リサイクルリースづくり	鯖江生ごみリサイクル市民ネットワーク
5	ごみをすくえ! ごみゼロゲーム	鯖江市環境まちづくり委員会
6	再生可能エネルギーのお話と オリジナルウッドチャームづくり	北陸電力株式会社
7	鯖江の野鳥研究! クラフトづくり	日本野鳥の会 福井県 河和田自然に親しむ会
8	ランドスケープ大作戦カードゲーム	さばえNPOサポート

開会式



主催者代表挨拶



鯖江市長 佐々木 勝久



主催者

- ・鯖江市環境まちづくり委員会
委員長 尾木 洋一
- ・子どもエコクラブ活動交流会
実行委員長 中村 利幸



来賓

- ・鯖江市教育委員会
教育長 齋藤 邦彦
- ・鯖江市PTA連合会
会長 佐飛 康央

エコクラブ発表



惜陰小学校エコ探検隊

チームで自己紹介



ワークショップ



木のカスタネットづくり



プラレールでチャレンジ



リサイクル工作とレクリエーション



自然を楽しむ！リサイクルリースづくり



ごみをすくえ！ごみゼロゲーム



再生可能エネルギーのお話



鯖江の野鳥研究！クラフトづくり



ランドスケープ大作戦カードゲーム

かんきょう市民大学・井戸端会議・企業セミナー等の開催

1. 事業の目的

環境基本計画推進のため、環境に関する知識・意識を高め、環境に配慮した行動ができる市民を広く育成する。

2. 実施方法

広く市民に環境に対する関心を持ってもらうため、講演会を開催した。

3. 報告事項

1) 会議・関連日程一覧

日付	活動名	場 所	内 容
8月31日	環境活動家 谷口たかひさ 講演会打合せ	エコネットさばえ	環境政策課・エクネス(株) 平井社長との打合せ
10月 2日	環境活動家 谷口たかひさ 講演会	エコネットさばえ	講演会準備

2) 環境活動家 谷口たかひさ講演会

名 称	環境活動家 谷口たかひさ お話会
開 催 日	令和5年10月2日(土) 17:00~18:00
開催場所	鯖江市嚮陽会館(鯖江市桜町2丁目7番1号)
対 象	一般
申込者数	約 300名



環境学習の企画実施

1. 事業の目的

小中学生・市民に様々な体験(森づくり・ビオトープ他等)・学習会を通して環境を身近に感じ、更なる取組みを促す

2. 実施方法

学校・市民・市民団体等からの申し込みで随時実施した。(来館・出張を含む)

3. 報告事項

実施回数 56回 参加人数 延 3,655名

	実施回数	参加人数
小学校環境学習	31回	1,590名
独自環境学習	16回	341名
その他打合せ等	5回	22名
講演会(谷口たかひさ お話会)	4回	1,702名

環境学習の企画実施一覧

	日付	会場	内容	講師	人数	対象
1	4月16日	エコネットさばえ	シイタケ駒うち体験	畑中 雅博 楳原 秀典 清水 堅 日野岡 金治 藤田 久子	55名	オープンデー参加者
2	4月20日	エコネットさばえ	環境教育連絡会	畑中 雅博 楳原 秀典	16名	環境教育担当教諭
3	4月25日	北中山小学校	地球温暖化防止教室	畑中 雅博	24名	北中山小学校 5年生
4	4月27日	エコネットさばえ	PTAイベント相談	楳原 秀典	1名	中河小学校担当教諭
5	5月12日	エコネットさばえ	環境体験学習打合せ	楳原 秀典	1名	立待小学校担任教諭
6	5月21日	エコネットさばえ	食べられるハーブの寄せ植え	小嶋 恵子 楳原 秀典	29名	オープンデー参加者
7	5月25日	豊小学校	ゴーヤグリーンカーテン	畑中 雅博	45名	豊小学校 4年生
8	5月26日	惜陰小学校	地球温暖化防止教室	畑中 雅博	93名	惜陰小学校 5年生
9	6月8日	大谷公園	間伐体験	畑中 雅博 日野岡 金治	88名	立待小学校 3年生
10	6月8日	中河きらめき ビオトープ	ビオトープ観察会	浅利 由美 浅利 裕太	88名	立待小学校 3年生
11	6月8日	エコネットさばえ	木のコースターづくり	畑中 雅博 楳原 秀典	88名	立待小学校 3年生
12	6月10日	北中山公民館	節電講習会	畑中 雅博	31名	北中山地区区民
13	6月16日	吉川公民館	ゴーヤグリーンカーテン	畑中 雅博	13名	吉川地区区民
14	6月20日	河和田小学校	野鳥観察打合せ	池田 豊美	3名	河和田小学校担当教諭
15	6月23日	アメニティウエルネス他	リサイクル施設見学会	畑中 雅博	78名	惜陰小学校 6年生

	日付	会場	内容	講師	人数	対象
16	6月26日	河和田小学校	野鳥観察	谷口 真栄 池田 豊美	27名	河和田小学校 3年生
17	6月27日	アミティエエルネス	リサイクル施設見学会	畑中 雅博	34名	中河小学校 4年生
18	6月29日	吉川小学校	ごみゼロゲーム	榎原 秀典	71名	吉川小学校 4年生
19	7月10日	片上小学校	廃油ろうそく作り	畑中 雅博	13名	片上小学校 5年生
20	7月16日	エコネットさばえ	はじめましてのコンピューター	コアット 齋藤	26名	オープンデー参加者
21	7月27日	北中山小学校	木のコースターづくり	畑中 雅博	19名	北中山児童クラブ
22	8月 1日	エコネットさばえ	自由研究対応 3Rについて研究材料	畑中 雅博	2名	惜陰小学校 4年生 児童・保護者
23	8月24日	エコネットさばえ	ダンボールコンポスト取組み	畑中 雅博	1名	鯖江高校 SDGs部員
24	8月25日	片上公民館	紙芝居 木のコースターづくり	畑中 雅博	20名	片上児童クラブ
25	9月 1日	吉川小学校	地球温暖化防止教室	畑中 雅博	80名	吉川小学校 5年生
26	9月14日	鯖江東小学校	地球温暖化防止教室	畑中 雅博	49名	鯖江東小学校 5年生
27	9月15日	エコネットさばえ	ダンボールコンポスト取組み	畑中 雅博	1名	鯖江高校 SDGs部員
28	9月26日	エコネットさばえ	町探検	畑中 雅博 日野岡 金治 榎原 秀典	8名	中河小学校 2年生
29	9月28日	日野川有定橋 右岸	水生生物観察	浅利 裕美 浅利 裕太 畑中 雅博	44名	中河小学校 5年生
30	9月29日	吉川小学校	北陸電力による出前講座 環境とエネルギー	北陸電力 中村専任部長 他2名	20名	吉川小学校 5年生
31	10月 2日	エコネットさばえ	お話会	環境活動家 谷口 たかひさ	50名	中河小学校 5年生
32	10月 3日	中央中学校	お話会	環境活動家 谷口 たかひさ	665名	中央中学校 1・2年生
33	10月 3日	東陽中学校	お話会	環境活動家 谷口 たかひさ	236名	東陽中学校 1・3年生
34	10月 3日	鯖江中学校	お話会	環境活動家 谷口 たかひさ	751名	鯖江中学校 1～3年生
35	10月10日	エコネットさばえ	ダンボールコンポスト	畑中 雅博	34名	中河小学校 4年生
36	10月12日	立待小学校	ダンボールコンポスト	畑中 雅博	29名	立待小学校 3年生
37	10月16日	エコネットさばえ	新聞紙ハッグづくり	藤田 久子 畑中 雅博 榎原 秀典	36名	中河小学校 4年生
38	10月20日	惜陰小学校	廃油石けんづくり	藤田 久子 畑中 雅博 榎原 秀典	84名	惜陰小学校 6年生
39	10月24日	エコネットさばえ	新聞紙エンピツづくり	畑中 雅博 榎原 秀典	38名	中河小学校 4年生
40	10月24日	立待小学校	新聞紙ハッグづくり	藤田 久子 畑中 雅博	36名	立待小学校 3年生
41	10月26日	吉川小学校	新聞紙ハッグづくり	藤田 久子 畑中 雅博 榎原 秀典	80名	吉川小学校 4年生
42	10月28日	エコネットさばえ	ファミリースクール	畑中 雅博 榎原 秀典	32名	中河小学校PTA
43	11月 6日	神中児童センター	つみき広場	畑中 雅博	20名	神中児童センター
44	11月17日	吉川小学校	間伐材で箸作り	藤田 久子 畑中 雅博 榎原 秀典	68名	吉川小学校 4年生
45	11月28日	神明小学校	地球温暖化防止教室	畑中 雅博 榎原 秀典	93名	神明小学校 5年生

	日付	会場	内容	講師	人数	対象
46	12月14日	進徳小学校	ナチュラルリースづくり	藤田 久子 畑中 雅博	50名	進徳小学校 3年
47	12月18日	のぞみ保育園	ごみ分別の仕方	畑中 雅博	22名	ひまわり・さくら組
48	12月21日	中河小学校	ダンボールコンポスト熟成作業	畑中 雅博	31名	中河小学校 4年生
49	12月22日	エコネットさばえ	ごみについてインタビュー	畑中 雅博	2名	鯖江高校 2年生
50	12月28日	中河小学校	ダンボールコンポスト熟成作業 (フォローアップ)	畑中 雅博	1名	中河小学校
51	1月11日	鯖江東小学校	ナチュラルリースづくり	藤田 久子 畑中 雅博	67名	鯖江東小学校 4年
52	1月16日	せきいんこども園	ゴミ分別の仕方	畑中 雅博	50名	せきいんこども園 4・5歳児
53	1月18日	進徳小学校	紙すきでハガキづくり	畑中 雅博	50名	進徳小学校 3年
54	1月23日	片上幼稚園	ゴミ分別の仕方	畑中 雅博	18名	片上幼稚園 年長・年中・年少
55	2月15日	進徳小学校	木のコースターづくり	畑中 雅博 榎原 秀典	22名	進徳小学校 3年1組
56	2月15日	進徳小学校	新聞紙エンピツづくり	畑中 雅博 榎原 秀典	22名	進徳小学校 3年2組



環境教育連絡会 4/20
(環境教育担当教諭)



地球温暖化防止教室 4/25
(北中山小学校 5年生)



ゴーヤグリーンカーテン 5/25
(豊小学校 4年生)



間伐体験 6/8
(立待小学校 3年生)



ビオトープ観察会 6/8
(立待小学校 3年生)



木のコースターづくり 6/8
(立待小学校 3年生)



リサイクル施設見学会 6/23
(惜陰小学校 6年生)



野鳥観察 6/26
(河和田小学校 3年生)



ごみゼロゲーム 6/29
(吉川小学校 4年生)



廃油ろうそくづくり 7/10
(片上小学校 5年生)



ゴミ分別紙芝居 8/25
(片上児童クラブ)



ダンボールコンポスの取り組み 9/15
(鯖江高校 SDGs部)



町探検 9/26
(中河小学校 2年生)



水生生物観察 9/28
(中河小学校 5年生)



谷口たかひさ お話会 10/3
(鯖江中学校)



積みき広場 11/6
(神中児童センター)



出前講座(北陸電力) 9/29
(吉川小学校 5年生)



ダンボールコンポスト 10/10
(中河小学校 4年生)



廃油せっけんづくり 10/20
(惜陰小学校 6年生)



新聞紙エンピツづくり 10/24
(中河小学校 4年生)



新聞紙バックづくり 10/24
(立待小学校 3年生)



地球温暖化防止教室 11/28
(神明小学校 5年生)



間伐材で箸づくり 11/17
(吉川小学校 4年生)



ナチュラルリースづくり 1/11
(鯖江東小学校 4年生)



紙すきでハガキづくり 1/18
(進徳小学校 3年生)



ゴミ分別の仕方 1/23
(片上幼稚園 年長・年中・年少)



木のコースターづくり 2/15
(進徳小学校 3年生)



新聞紙エンピツづくり 2/15
(進徳小学校 3年生)

親子リサイクルバスツアーの開催

1. 事業の目的

リサイクル施設見学を通し、親子で学べる環境学習の場を企画し、環境を担う人材づくりを目指す。

2. 実施方法

学校へのチラシ・市広報で参加者を募集した。

3. 報告事項

開催日	令和5年7月25日(火) 7月28日(金)
見学先	株式会社エフピコ中部 (岐阜県安八郡輪之内町南波511-5)
参加者数	94名



7月25日



7月28日

館内企画展示

1. 事業の目的

館内展示により、様々な環境問題ジャンルの情報を来館者に伝え啓発を図る。

2. 実施方法

夏場の省エネを考えるきっかけ作りにゴーヤカーテンを設置した。

3. 報告事項

実施内容	ゴーヤグリーンカーテン ネット張り、苗植え
開催日	令和5年5月22日
設置場所	環境教育支援センター正面玄関



6月23日



7月15日

環境まちづくり委員会各会議の開催

1. 事業の目的

環境まちづくり委員会・ワーキンググループ(WG)の運営をサポートし、環境基本計画を推進する。

2. 実施方法

総合運営会議・ワーキンググループに関する会議の日程調整、開催連絡、および活動をサポートした。

3. 報告事項

1) 各会議の開催

会議名	内容	開催日
総合運営会議	各ワーキンググループ設置	8/22
	座長、副座長選任	
	各ワーキンググループ会議	
環境フェア実行委員会	環境フェアの開催に伴う協議	4/17 5/19 6/5 6/12 7/3
こどもエコクラブ活動 交流会実行委員会	エコクラブ活動交流会開催に 伴う協議	12/7 1/25 2/19
ビオトープ実行委員会	ビオトープ管理運営に伴う協議	5/2

2) 燃やすごみ組成調査

実施日 10月23日



総合運営会議 8/22



燃やすごみの組成調査 10/23

環境アドバイザーの派遣

1. 事業の目的

環境問題のあらゆるジャンルのアドバイザー（講師）を紹介し、学校・市内団体等の派遣依頼を受ける。

2. 実施方法

学校の依頼に基づき、環境アドバイザーを派遣した。

3. 報告事項

環境アドバイザーの派遣回数 7回

アドバイザー 谷口 真栄

日付	会場	内容	参加者数	対象
6月26日	河和田小学校	野鳥観察	27名	河和田小学校3年生

アドバイザー 藤田久子

日付	会場	内容	参加者数	対象
10月16日	エコネットさばえ	新聞紙バックづくり	36名	中河小学校4年生
10月20日	惜陰小学校	廃油石けんづくり	84名	惜陰小学校6年生
10月24日	立待小学校	新聞紙バックづくり	36名	立待小学校3年生
10月26日	吉川小学校	新聞紙バックづくり	80名	吉川小学校4年生
12月14日	進徳小学校	ナチュラルリースづくり	50名	進徳小学校3年生
1月11日	鯖江東小学校	ナチュラルリースづくり	67名	鯖江東小学校4年生



野鳥観察 6/26
(河和田小学校 3年生)



新聞紙バックづくり 10/16
(中河小学校 4年生)



廃油石けんづくり 10/20
(惜陰小学校 6年生)



ナチュラルリースづくり 12/14
(進徳小学校 3年生)

エコネットさばえ通信の発行

1. 事業の目的

センター事業や環境啓発を市民に周知するための機関紙を発行することにより、広く市民に啓発を図る。

2. 実施方法

エコネットさばえ通信を企画編集発行し、市広報通送にて年2回配布した。

3. 報告事項

1) エコネットさばえ通信の発行

	2024 No.42	2024 No.43 特別編
仕様	A3版 カラー 見開き（表・裏）	A3版 カラー 見開き（表・裏）
内容	コウノトリについて	地域おこし協力隊インターン編
部数	23,800部	23,800部
配布先	鯖江市内全戸	鯖江市内全戸



センターに付随したビオトープの整備

1. 事業の目的

ビオトープの維持・管理を通し、自然環境保護の重要性を学習する環境体験を実施。

2. 実施方法

ビオトープ実行委員会、実践講座等の実施を通して、ビオトープの管理運営にあたった。

3. 報告事項

1) ビオトープ実行委員会の開催

日時	場所	指導	参加者数	内容
5月2日	エコネットさばえ	堀 克之 畑中 雅博 榎原 秀典	5名	中河小学校 教頭 4年生担任教諭打合せ

2) ビオトープを利用した環境体験

日時	場所	指導	参加者数	内容
5月23日	中河きらめき ビオトープ	堀 克之 清水 吉一	50名	中河小学校4年生 田植え
6月1日	中河きらめき ビオトープ	浅利 裕美 浅利 裕太	49名	中河小学校3年生 観察会
6月9日	中河きらめき ビオトープ	浅利 裕美 浅利 裕太	88名	中河小学校2年生 観察会
10月19日	中河きらめき ビオトープ	堀 克之 清水 吉一	47名	中河小学校3年生 稲刈り
11月14日	エコネットさばえ	清水 吉一	46名	中河小学校3年生 脱穀精米
12月12日	エコネットさばえ	堀 克之 清水 吉一	45名	中河小学校3年生 もちつき
12月12日	エコネットさばえ	堀 克之 清水 吉一	45名	中河小学校3年生 縄ない

3) ビオトープの維持・管理作業

日時	場所	指導	参加者数	内容
5月16日	中河きらめき ビオトープ	堀克之	3名	草刈り
7月15日	中河きらめき ビオトープ	堀克之	3名	草刈り

他数回



草刈り 5/16



田植え 5/23
(中河小学校 4年生)



観察会 6/1
(中河小学校 3年生)



観察会 6/9
(中河小学校 2年生)



稲刈り 10/19
(中河小学校 3年生)



脱穀精米 11/14
(中河小学校 3年生)



もちつき 12/12
(中河小学校 3年生)



縄ない 12/12
(中河小学校 3年生)

どんぐりからの森づくり事業

1. 事業の目的

育苗から植樹・森づくり活動を通して、CO₂削減、地球温暖化防止を啓発する。

2. 実施方法

市内小学生にどんぐりを拾ってもらい芽が出るまで育ててもらうとともに、地球温暖化防止のための植樹の意義を啓発する。また市内小学生および親子等の市民参加による植樹体験学習会を開催し同様に啓発を行う。

3. 報告事項

1) 小学校でのどんぐり苗づくり支援

	実施回数	参加者数	活動場所
どんぐりの種まき	12回	636名	鯖江市内各小学校
森づくり教室	11回	447名	鯖江市内各小学校
どんぐりの収穫祭	8回	436名	各小学校近隣の公園・森など

どんぐりからの森づくり企画実施一覧

講師 畑中雅博、日野岡金治、榎原秀典

	開催日	場所	内容	人数	対象
1	4月13日	河和田小学校	どんぐり種まき	25名	河和田小学校 4年生
2	4月14日	進徳小学校	どんぐり種まき	47名	進徳小学校 4年生
3	4月18日	豊小学校	どんぐり種まき	45名	豊小学校 4年生
4	4月20日	吉川小学校	どんぐり種まき	73名	吉川小学校 4年生
5	4月21日	立待小学校	どんぐり種まき	80名	立待小学校 4年生
6	4月24日	片上小学校	どんぐり種まき	15名	片上小学校 4年生
7	4月24日	北中山小学校	どんぐり種まき	16名	北中山小学校 4年生
8	4月24日	鯖江東小学校	どんぐり種まき	67名	鯖江東小学校 4年生
9	4月25日	中河小学校	どんぐり種まき	36名	中河小学校 4年生
10	5月2日	鳥羽小学校	どんぐり種まき	69名	鳥羽小学校 4年生
11	5月2日	惜陰小学校	どんぐり種まき	70名	惜陰小学校 4年生
12	5月29日	神明小学校	どんぐり種まき	93名	神明小学校 4年生
13	6月8日	立待小学校	森づくり教室	88名	立待小学校 3年生
14	9月5日	惜陰小学校	森づくり教室	60名	惜陰小学校 3年生
15	9月7日	鯖江東小学校	森づくり教室	44名	鯖江東小学校 3年生

	開催日	場所	内容	人数	対象
16	9月7日	進徳小学校	森づくり教室	46名	進徳小学校 3年生
17	9月8日	吉川小学校	森づくり教室	71名	吉川小学校 3年生
18	9月11日	鳥羽小学校	森づくり教室	72名	鳥羽小学校 3年生
19	9月19日	片上小学校	森づくり教室	15名	片上小学校 3年生
20	9月19日	豊小学校	森づくり教室	45名	豊小学校 3年生
21	9月26日	エコネットさばえ	森づくり教室	46名	中河小学校 3年生
22	9月26日	北中山小学校	森づくり教室	21名	北中山小学校 3年生
23	9月29日	河和田小学校	森づくり教室	27名	河和田小学校 3年生
24	10月26日	北部第3公園	収穫祭	44名	豊小学校 3年生
25	10月30日	北部第3公園	収穫祭	73名	鳥羽小学校 3年生
26	10月31日	惜陰小学校	収穫祭	65名	惜陰小学校 3年生
27	11月9日	北部第三公園	収穫祭	89名	立待小学校 3年生
28	11月9日	ことぶき荘	収穫祭	28名	片上小学校 3年生
29	11月9日	嚮陽庭園	収穫祭	45名	進徳小学校 3年生
30	11月14日	北部第三公園	収穫祭	46名	中河小学校 3年生
31	11月16日	北部第三公園	収穫祭	46名	鯖江東小学校 3年生
合計				1,607名	



どんぐり種まき 4/13
(河和田小学校 4年生)



どんぐり種まき 4/20
(吉川小学校 4年生)



どんぐり種まき 5/2
(鳥羽小学校 4年生)



どんぐり種まき 5/29
(神明小学校 4年生)



森づくり教室 9/5
(惜陰小学校 3年生)



森づくり教室 9/7
(鯖江東小学校 3年生)



森づくり教室 9/26
(中河小学校 3年生)



森づくり教室 9/26
(北中山小学校 3年生)



収穫祭 10/26
(豊小学校 3年生)



収穫祭 11/9
(立待小学校 3年生)



収穫祭 11/9
(片上小学校 3年生)



収穫祭 11/9
(進徳小学校 3年生)

2) 市民植樹祭の開催

活動場所：戸の口町 八幡山



	実施日	参加者数	協力団体
植樹祭準備	10月4日 ～10月7日	25名	越の郷地球環境会議 福井イーストライオンズクラブ
植樹祭	10月8日	15名	福井イーストライオンズクラブ 三菱UFJ環境財団

植樹実績

『市内小学生が育てたどんぐりの苗木』及び『寄贈いただいた苗木』合計 約2,000本

受贈苗木一覧

樹木名	本数	樹の区別
ウラジロガシ	100本	常緑高木
スダジイ	100本	常緑高木
タブノキ	100本	常緑高木
ケヤキ	100本	常緑高木
シロダモ	50本	常緑高木
ヤブツバキ	50本	常緑高木
アカガシ	100本	常緑高木
アラカシ	100本	常緑高木
クロガネモチ	50本	常緑高木
サカキ	50本	常緑高木
ムラサキシキブ	20本	落葉低木
ヒサカキ	20本	常緑小高木
アオキ	20本	常緑低木
マサキ	20本	常緑低木
ヤマザクラ	20本	落葉高木
ヤマツツジ	20本	落葉低木
アベマキ	40本	落葉高木
合計	960本	



※ 苗木は公益財団法人 三菱UFJ環境財団より寄贈いただきました。

広報活動及びHPの管理・更新

1. 事業の目的

ホームページを維持管理し、活動情報等を紹介するとともに環境啓発ならびにイベント参加を促す。

2. 実施方法

館内案内、事業の案内、報告等を随時行った。

3. ホームページの管理・Facebookの配信

<http://ecoplaza-sabae.jp/econet/>



ホームページ



Facebook

3R推進講座の実施

1. 事業の目的

循環型社会を構築するため、ごみの排出抑制、再利用、再生利用およびごみ減量化を推進する。

2. 実施方法

おもちゃ病院を行うことによりリユースの推進、資源の循環を啓発した。

3. 報告事項

おもちゃ病院の開催 全32回

開催日	第1土曜日
	第3土曜日
	第3日曜日
	環境フェア開催日(6/18)
場所	エコネットさばえ
	嚮陽会館(6/18)
実施内容	受付 139 個
	修理完了 120 個
	修理不可 19 個

	開催日	参加ドクター数
1	4月 1日	5 名
2	4月15日	6 名
3	4月16日	3 名
4	5月 6日	4 名
5	5月20日	4 名
6	5月21日	2 名
7	6月 3日	4 名
8	6月17日	5 名
9	6月18日※	5 名
10	7月 1日	3 名
11	7月15日	4 名
12	7月16日	1 名
13	8月 5日	4 名
14	8月19日	4 名
15	9月 2日	4 名
16	9月16日	3 名
17	9月17日	2 名
18	10月 7日	5 名
19	10月15日	1 名
20	10月21日	4 名
21	11月 4日	4 名
22	11月18日	4 名
23	12月 2日	6 名
24	12月16日	4 名
25	12月17日	2 名
26	1月 6日	4 名
27	1月20日	3 名
28	2月 3日	4 名
29	2月17日	4 名
30	2月18日	1 名
31	3月 2日	4 名
32	3月16日	2 名



エコネットさばえにて



環境フェア (6/18)

環境リーダー養成講座の実施

1. 事業の目的

環境教育指導の手法を学び、環境に関するスキルアップに資する講座を開催し、環境リーダーを養成する。

2. 実施方法

環境各ジャンルのテーマで環境リーダー養成講座を開催した。

3. 報告事項

環境リーダー養成講座の開催

講座名	脱炭素町づくりカレッジ体験会
開催日	8月12日
場所	エコネットさばえ
対象	一般
講師	森 雅貴 (NPO法人 issue+design)
参加者数	25名
内容	脱炭素についての講座・カードゲーム体験後、ふりかえりを行った。



講座名	カードゲーム「moritomirai」体験会
開催日	11月11日
場所	エコネットさばえ
対象	一般
講師	長瀬 めぐみ・岡野 博明 (株式会社 プロジェクトデザイン)
参加者数	25名
内容	森林についての講座・カードゲーム体験後、ふりかえりを行った。



脱炭素町づくりカレッジ体験会



カードゲーム「moritomirai」体験会

SDGsの達成に貢献する活動 ・団体の支援及び事業の実施

1. 事業の目的

SDGsを達成するためには、私たち一人一人がSDGsに関心を持ち、その必要性を理解してはじめて、行動に移すことができる。

この導入部分についての支援および事業を実施する。

2. 実施方法

SDGsの概略やその必要性、または達成のために何から始めればよいか等の導入部分についての支援を行う。

3. 報告事項

1) 学習会の提供

	実施回数	参加人数
小学校学習会	5回	224名
一般学習会	7回	141名
ミーティング等	3回	9名

実施一覧

	日付	場所	講師	対象	人数	内容
1	5月30日	惜陰小学校	榎原 秀典	惜陰小学校 4年生	76名	SDGsばば抜き
2	6月2日	片上小学校	榎原 秀典	片上小学校 5・6年生	29名	2030SDGs
3	6月19日	エコネットさばえ	榎原 秀典	中河小学校 4年生	40名	SDGsばば抜き
4	6月29日	吉川小学校	榎原 秀典	吉川小学校 5年1・3組	53名	2030SDGs
5	6月30日	吉川小学校	榎原 秀典	吉川小学校 5年2組	26名	2030SDGs
6	6月30日	鯖江市役所	榎原 秀典	商工観光課	5名	ミーティング
7	7月7日	鯖江村田 製作所	榎原 秀典	担当職員	1名	ミーティング
8	7月10日	エコネットさばえ	榎原 秀典	鯖江高校 2年生	3名	SDGsフェス相談
9	7月11日	さばえSDGs 推進センター	榎原 秀典	鯖江村田製 作所 社員	28名	2030SDGs
10	7月13日	さばえSDGs 推進センター	榎原 秀典	鯖江村田製 作所 社員	27名	2030SDGs

	日付	場所	講師	対象	人数	内容
11	7月18日	さばえSDGs推進センター	榎原 秀典	鯖江村田製作所 社員	22名	2030SDGs
12	10月24日	さばえSDGs推進センター	榎原 秀典	鯖江村田製作所 社員	20名	2030SDGs
13	10月30日	さばえSDGs推進センター	榎原 秀典	鯖江村田製作所 社員	18名	2030SDGs
14	11月2日	さばえSDGs推進センター	榎原 秀典	鯖江村田製作所 社員	22名	2030SDGs
15	1月16日	エコネットさばえ(ZOOM)	牛島 隆敬	榎原 秀典 他	4名	越前鯖江デザイン経営スクールヒヤリング



SDGsばば抜き 5/30
(惜陰小学校 4年生)



2030SDGs 6/2
(片上小学校 5・6年)



SDGsばば抜き 6/19
(中河小学校 4年生)



2030SDGs 6/29
(吉川小学校 5年1・3組)



2030SDGs 6/30
(吉川小学校 5年2組)



2030SDGs 7/11
(鯖江村田製作所)

2) 環境問題に取り組む学生たちの支援

	実施回数
GIAフィールドワーク支援	1回
GIA活動発表会の参加	3回
GIAとのミーティング等	29回

実施一覧(ミーティングを除く)

	日付	場所	講師	対象	人数	内容
1	10月6日	エコネットさばえ	坂野 晶 畑中 雅博 楳原 秀典	GIA学生	16名	GIAフィールドワーク GIA学生13名来訪 市長表敬
2	10月7日	エコネットさばえ	坂野 晶 畑中 雅博 楳原 秀典	GIA学生	16名	GIAフィールドワーク GIA学生13名来訪
3	10月26日 ~3月9日	エコネットさばえ	坂野 晶 畑中 雅博 楳原 秀典	GIA学生 (地域おこし 協力隊)	4名	GIA学生の活動の 支援・助言等
4	11月11日	エコネットさばえ (ZOOM)	坂野 晶	環境政策課 畑中 雅博 楳原 秀典 GIA学生	12名	GIA中間発表会
5	12月16日	エコネットさばえ (ZOOM)	坂野 晶	環境政策課 畑中 雅博 楳原 秀典	4名	GIA最終発表会
6	2月26日	鯖江市役所	坂野 晶	市長・議員 環境政策課 畑中 雅博 楳原 秀典 GIA学生	34名	地域おこし協力隊 最終発表

Green Innovator Academy[※]の卒業生が、10月26日から3月9日の間、「鯖江市の地域おこし協力隊」としてエコネットを拠点に活動しました。

※ Green Innovator Academy(GIA)

「脱炭素社会を牽引する次世代の人材育成」を目指し、一般社団法人 Green Innovation が、現役大学生・大学院生を募集し研修プログラムを提供しています。(代表 坂野晶氏)



GIAフィールドワーク 10/7



地域おこし協力隊最終発表 2/26

魅力ある企画事業運営

1. 事業の目的

環境基本計画にもとづく「人と生き物が仲良くらせるまち」の実現を目指し、市民等に対して魅力ある事業を実施する。

2. 実施方法

市広報・ホームページ等で情報を紹介するとともに、チラシを作成して、鯖江市内・保育所・小学校に配布しイベント参加を促した。

3. 報告事項

1) 令和5年度オープンデーの開催

開催回数 10回 参加人数 573名

	開催日	参加人数	内容
1	4月16日	105名	つみきひろば・リユースプラレールひろば おもちゃ病院 シイタケ駒うち体験
2	5月21日	77名	つみきひろば・リユースプラレールひろば おもちゃ病院 ハーブのよせうえ体験
3	7月16日	71名	つみきひろば・リユースプラレールひろば おもちゃ病院 はじめましてプログラミング 生ごみ処理容器モニター説明会
4	9月17日	37名	つみきひろば・リユースプラレールひろば おもちゃ病院 生ごみ処理容器モニター説明会
5	10月15日	22名	つみきひろば・リユースプラレールひろば おもちゃ病院
6	11月19日	27名	つみきひろば・リユースプラレールひろば おもちゃ病院 生ごみ処理容器モニター説明会
7	12月17日	90名	つみきひろば・リユースプラレールひろば おもちゃ病院 ウィンターリースづくり ヘアアレンジ 生ごみ処理容器モニター説明会
8	1月21日	30名	つみきひろば・リユースプラレールひろば おもちゃ病院
9	2月18日	72名	つみきひろば・リユースプラレールひろば おもちゃ病院 まつぼっくりストラップ&ツリー
10	3月17日	42名	つみきひろば・リユースプラレールひろば おもちゃ病院 ヘアアレンジ



シイタケ駒うち体験 4/16



ハーブのよせうえ体験 5/21



はじめましてプログラミング 7/16



ウィンターリースづくり 12/17



ヘアアレンジ 12/17



まつぼっくりストラップ&ツリー 2/18



おもちゃ病院



つみきひろば・リユースプラレールひろば

廃棄物分別およびごみ減量化・ 資源化市民啓発事業

1.事業の目的

ごみの減量化・資源化を推進し、更なる循環型社会の実現を目指して、ごみの収集・運搬から再生・処理(リサイクル)にいたるまでの現状を理解して、分別収集の周知・徹底を図る。

2.実施方法

- 1)各地区の区長を対象に、ごみ処理・リサイクル施設見学会を実施した。
- 2)ごみ減量化・資源化町内説明会を実施した。

3.報告事項

- 1)ごみ処理・リサイクル施設見学会の実施

見学先

株式会社アメニティーウエルネス

武生環境保全安養寺第2工場

夢の社おた

開催回数 4回

参加人数 40名

日付	地区名	参加人数
7月11日	鯖江・新横江地区	6名
7月13日	神明・立待地区	13名
7月20日	豊・吉川・中河地区	10名
7月21日	片上・北中山・河和田地区	11名



武生環境保全安養寺第2工場



夢の社おた

2)ごみ減量化・資源化町内説明会の実施

開催回数 19回 参加人数 341名

	日時	開催場所	地区名	町内名/対象者	参加人数
1	4月20日	上杉本公民館	立待地区	上杉本サロン	13名
2	5月9日	深江町公民館	鯖江地区	深江町町内会	24名
3	5月9日	幸町1丁目公民館	神明地区	幸町1丁目町民	8名
4	5月14日	定次町1丁目公民館	新横江地区	定次町町民 (1～5班)	28名
5	5月21日	定次町1丁目公民館	新横江地区	定次町町民 (6～10班)	23名
6	5月28日	定次町1丁目公民館	新横江地区	定次町町民 (11～15班)	30名
7	6月11日	惜陰小学校	鯖江地区	日の出町民	30名
8	6月16日	下司町公民館	吉川地区	あやめ会	11名
9	6月25日	上戸口集落 センター	北中山地区	上戸口町民	11名
10	9月11日	曲木児童館	中河地区	スイートピーサロン	8名
11	10月10日	糺集会場	立待地区	糺ニュータウン ふれあいサロン	11名
12	10月12日	北中山公民館	北中山地区	北中山地区 区民	16名
13	10月16日	エコネットさばえ		(株)ふくい整理収納 サービス	1名
14	10月22日	小黒町児童センター	鯖江地区	小黒町町民	35名
15	11月6日	エコネットさばえ		酒井ゆきこ市議	1名
16	11月14日	石田上町公民館	立待地区	石田上町 石田中町区民	10名
17	11月16日	鳥羽中児童センター	神明地区	愛育会	14名
18	12月5日	北中山公民館	北中山地区	北中山まちづくり 委員会	22名
19	1月14日	松成町公民館	北中山地区	松成町民	45名



スイートピーサロン 9/11



松成町 1/14

生ごみ分解処理容器モニター事業

1.事業の目的

ごみの減量化に向けて、燃やせるごみの約4割を占める生ごみを減らすことは最も効果的である。土の中の微生物の力で生ごみを分解・消失させることができる生ごみ分解処理容器を家庭で使用し、意見をいただけるモニターを募集し、実際に使用した生の声を聞かせてもらうことで、その有効性・課題を検証する。

2.実施方法

生ごみ分解処理容器、トラッシュファミリーの利用方法を説明し、モニター価格で販売する。実施記録レポートの提出および感想を頂いた方に全額を返金する。

3.報告事項

1) 生ごみ分解処理容器モニター説明会を開催した。

開催回数 25回 参加人数 118名

実施日	開催場所	参加人数	実施日	開催場所	参加人数
6月 6日	エコネットさばえ	1名	11月16日	エコネットさばえ	4名
6月 9日	エコネットさばえ	1名	11月19日	エコネットさばえ	2名
7月16日	エコネットさばえ	3名	12月18日	エコネットさばえ	1名
8月 1日	エコネットさばえ	2名	1月14日	エコネットさばえ	2名
8月 4日	エコネットさばえ	2名	2月18日	エコネットさばえ	2名
8月20日	エコネットさばえ	2名	2月25日	エコネットさばえ	2名
8月24日	エコネットさばえ	1名	3月 5日	西大井町公民館	6名
9月 7日	エコネットさばえ	1名	3月 9日	エコネットさばえ	1名
9月14日	エコネットさばえ	4名	3月12日	エコネットさばえ	2名
9月17日	エコネットさばえ	1名	3月15日	エコネットさばえ	1名
10月 8日	エコネットさばえ	2名	3月18日	中河公民館	28名
10月12日	北中山公民館	16名	3月29日	公明党支部会議	30名
10月31日	エコネットさばえ	1名	合計	25回	118名



環境啓発事業

1. 事業の目的

地球環境、自然閑居および生活環境の保全に関する啓発を行い、環境市民(生活のあらゆる場面において配慮して行動する市民)を育成することを目的とする。

2. 実施方法

1) 環境レポート作成

環境レポートを600冊作成し発行する。

2) ごみ減量化・資源化啓発

「広報さばえ」にごみ減量化・資源化市民啓発の記事を作成、掲載する。

3. 報告事項

1) 環境レポート作成

環境レポートを600冊作成し発行した。



2) ごみ減量化・資源化啓発

「広報さばえ」にごみ減量化・資源化市民啓発の記事を作成、掲載した。

編集後記

平成16年(2004)1月、私たちエコプラザさばえがNPOの法人格を取得して20年を迎えました。無我夢中で突っ走って来た20年ですが、いつの間にか20年が過ぎてしまったとも言えます。これまでの活動の成果はどの程度あがったでしょうか。各会員の皆様から、一般の市民の皆様から、行政の皆様からと色々な方面から評価を頂きこれから10年・20年先への指針にしたいものです。

私たちの活動が不必要な世の中を目指してやっていたりしましたが、中々そう世の中甘くはなく、まだまだ頑張っていかなければと思います。今後ともご支援よろしくお願ひします。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 令和5年度 エコプラザさばえ 活動報告書 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

2024(令和6年)5月 発行

(認定NPO)

編集・発行：特定非営利活動法人 エコプラザさばえ

〒916-0033 鯖江市中野町73-11

鯖江市環境教育支援センター(エコネットさばえ)内

TEL：0778-52-0050 FAX：0778-52-0909

E - M A I L：econet@ecoplaza-sabae.jp

